

連絡先：自動車局 審査・リコール課
 リコール監理室
 TEL：03-5253-8111 内線 42361
 アドレス：http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：令和2年10月20日

リコール届出番号	4823	リコール開始日	令和2年10月20日
届出者の氏名又は名称	株式会社 タダノ 取締役社長 多田野 宏一 問い合わせ先：品質安全部 TEL：087-894-7550		
不具合の部位（部品名）	原動機（燃料配管）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	<p>①ホイール・クレーンの原動機の燃料配管において、フレームとの隙間が不適切なため、始動時等の振動により、燃料配管とフレームが接触することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、燃料配管が損傷し、最悪の場合、燃料漏れが発生するおそれがある。</p> <p>②ホイール・クレーンの原動機の燃料配管において、組付けが不適切のため、配管のばらつきにより燃料配管とフレームの隙間余裕が不足しているものがある。そのため、燃料配管とフレームが接触している車両においては、そのままの状態で使用を続けると、燃料配管が損傷し、最悪の場合、燃料漏れが発生するおそれがある。</p>		
改善措置の内容	<p>①全車両、燃料配管を対策品に交換する。</p> <p>②全車両、燃料配管とフレームの隙間を点検し、接触もしくは隙間が狭い場合は燃料配管を対策品に交換する。</p>		
不具合件数	0件	事故の有無	0件
発見の動機	社内での発見による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：直接電話またはダイレクトメール等により連絡する。 ・自動車分解整備事業者：使用者を把握しており、周知の為の措置はとらない。 ・改善実施済車には、リコール対策済みステッカー(No, 4823)を運転席側ドア開口部のドアロックストライカー付近に貼り付けする。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
タダノ	YDS-T014	「GR-160N-4」	T014-0003～T014-0398 平成29年3月18日～令和2年5月21日	396台	①26台 ②370台
コバルコ	YDS-EW08	「RK160-8」	T014-5001～T014-5018 平成29年7月5日～令和2年3月30日	18台	①0台 ②18台
	(計2型式)	(計2車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成29年3月18日～令和2年5月21日	(計414台)	

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。